

## 分野別実証要領の昨年度からの変更点について

### 全分野共通及び各技術分野の実証要領主な変更内容等

技術分野	主な変更内容等
全分野共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>○付録0「実証機関において構築することが必要な品質管理システム(暫定版)」削除(事業実施要領において、「付録」に上記内容を記載する規定がないことと、記載内容にISO 14034との整合において誤解を受ける部分があるため、環境省と協議の上、本年度の実証要領から削除することとした)</li> <li>○資料編内容更新 「I 環境技術実証事業の概要」をH30年度実証事業実施要領の内容に修正。 「II.環境技術実証事業の実施体制」の図中の用語を(「実証試験計画」を「実証計画」に、「実証試験結果報告書」を「実証報告書」に)修正。</li> <li>○実証申請書のフォーマット修正(主に事業実施の円滑化を図るため、実証に参加した効果のアンケート協力の署名を追加等。)</li> </ul>
ヒートアイランド対策技術分野(建築物外皮による空調負荷低減等技術)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○平成30年度環境技術実証事業実施要領の改定に基づいた用語の変更、文章の削除・加筆 <ul style="list-style-type: none"> <li>a) 公募・選定→公募・選定を補助し、</li> <li>b) 技術の選定→技術の選定補助</li> <li>c) 公募→募集、など</li> </ul> </li> <li>○想定される技術(窓用技術、屋根・屋上用技術、新規技術)のうち、新規技術中の具体例にあった窓用指向性フィルムを削除</li> <li>・平成29年度の実証実績に伴い実証対象技術として独立させたため</li> <li>○申請書類に目標値(宣言値)として記入してもらう項目を明記(表3-1として追記) <ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度以降のISO化対応を踏まえ、平成29年度に検討した目標値について、実証対象技術、かつ、実証項目ごとの記載内容を定義できたため</li> </ul> </li> <li>○実証項目の番号を整理 <ul style="list-style-type: none"> <li>・指向性反射性能に関する実証項目を追記したため、これに伴う項目番号を再整理した</li> </ul> </li> <li>○数値計算で算出する電力量料金単価の見直し <ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪(関西電力)の電力量料金単価が変更になったため</li> </ul> </li> </ul>
ヒートアイランド対策技術分	○実証事業実施要領の改定に伴う、制度や手続き等の説明の変更。

技術分野	主な変更内容等
野(地中熱・下水等を利用したヒートポンプ空調システム)	
自然地域トイレし尿処理技術分野	○全分野共通変更のみ実施
有機性排水処理技術分野	○実施要領との整合性を図るための用語修正(例:実証試験⇒実証) ○その他、体裁等の軽微な修正
湖沼等水質浄化技術分野	・実施要領との整合性を図るための用語の修正(例:実証試験⇒実証) ・実証申請書のフォーマットの修正(主に事業実施の円滑化を図るため、実証に参加した効果のアンケート協力の署名を追加等。) ・水質に関連する調査項目の具体例(表4)に新規環境基準項目を追加 ・その他、体裁等の軽微な修正
閉鎖性海域における水環境改善技術分野	○誤字脱字の修正等
中小水力発電技術分野	○誤字脱字の修正等